

体育科学習指導本時案

授業者 南 拓哉

日時：平成30年10月27日（土）第1校時（9:30～10:15）

対象：第1学年C組 29人

場所：運動場

本時の主張点	宝を運べた数に着目させることにより、自分だけでなくチームの友だちが同じように運ぶために作戦を考えて修行に取り組むであろう。
--------	---

1. 本時について

攻め方や守り方について学習し、これまでの修行では、個人の力で宝を運び、その中から、身のこなしや空いている空間を見つけてきた。今後の学習につなげていくために、友だちと力をあわせること（作戦）を経験させたいと考えている。そのため本時では、作戦を考えて、友だちと攻める修行に取り組みさせる。友だちと力を合わせることによって、「沢山、宝を運べた」「友だちが宝を運ぶことができた」「自分も友だちも、宝を運ぶことができた」ということに気がついていこう。

2. 本時における探究的な学びと省察性の働き

本時では、友だちと力を合わせて、宝を運ぶための作戦を考える。「おとり作戦」「かべ作戦」「すり抜け作戦」「みんなで走る作戦」といった、力を合わせて運ぶことができるような作戦を考え、修行で試したり、改善したりすると考えられる。修行の時には、友だちに「僕がこっちに行くかからその隙に行って」「始まったら、すぐに走ろう」「相手に見えないようにしてみよう」といった声をかけるであろう。話し合いの時には、「相手が、僕の方を見る間に友だちが走って行った」「2人で走って行って、急に走る向きを変えた」と作戦の様子を言葉や動きで伝える。共有したことを活かして、次の修行で真似したり、工夫したりする姿を期待する。

3. 探究的な学びを支える授業のしかけ

本時の学びを支えていくために、友だちと力を合わせて攻める、「作戦」という言葉を学級全体で共有する。今まで記録してきた、宝を運べた数を記録した表を使って、自分の数だけでなく、チームの友だちの数に着目させ、友だちも同じように宝を運ぶための作戦を考えさせる。作戦がうまく立てられていない場合、空いている空間ができるように動く、「おとり」や一斉に攻めて隙を作る「すり抜け」に注目させ、作戦を作らせる。作らせた作戦には名前をつけて、修行への意欲につながるようにさせる。第一修行の後には、立てた作戦の様子を確かめたり、他の友だちの作戦を聞いたりして、自分たちの作戦との相違に気が付けるようにする。そして作戦を考える時間も再度設定し、作戦の確認や改善を話し合わせる。全ての修行の後には、作戦を使って宝を運ぶ修行から、「できたこと」「できなかったこと」を共有することによって、作戦を使って宝を運ぶ楽しさや難しさを感じたり、他の友だちの作戦に気が付いたりして、次時の修行への意欲につながるであろう。

4. 育みたい資質・能力

探究力	省察性
<ul style="list-style-type: none"> 忍者になりきって、友だちと一緒に修行を楽しむ力 (主体的に取り組む力) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分や友だちの運動から気が付いたことや工夫を振り返り、伝える力 (主体的に取り組む力を支える省察性)

5. 本時の目標

友だちと一緒に、相手をおぼしたり、走り抜れたりする作戦について、動作や言葉で友だちに伝えることができる。(思考力・判断力・表現力)

6. 本時の展開

学習活動と予想される子どもの反応	留意点・評価
1. 準備と準備修行 ○ ペアで印取り ○ 印取り鬼 2. 課題の確認と共有 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 友だちと力を合わせて宝を運ぶのじゃ </div>	<ul style="list-style-type: none"> 相手をよく見て、印を取ったり、おぼしたりさせる。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 友だちは、運べる数が少ない。 ○ 運べたり、運べなかったりしている。 3. 作戦を作って、第一修行をする ○ どんどん宝を運んでみよう。 ○ 「おとり作戦」 4. 第一修行のふり返り ○ 友だちのために、おとり作戦をした。 ○ 2人で走って行って、急に分かれて走った。 5. ふり返りを生かして、第二修行をする ○ 「すり抜け作戦」 6. 学習のふり返り ○ 作戦を立てて攻めると、宝が運びやすくなった。 ○ 作戦のとおりは、難しい。 7. 片付け	<ul style="list-style-type: none"> 宝を運べた数の記録表から、自分や友だちの数に着目させる。 友だちが運べる作戦を考えさせる。 友だちと力を合わそうとしている子どもを称賛する。 修行の様子を振り返らせ、友だちと共有させて、他のチームの作戦に気付かせる。 振り返ったことを大切に、修行をさせる。 いい動きをしている子どもの様子を ICT 機器で記録したり、称賛したりする。 思友だちと一緒に相手をおぼしたり、走り抜れたりする行い方について、動作や言葉で友だちに伝えることができる。 簡単な体操をして、片付けをさせる。